

産業連携ネットワーク



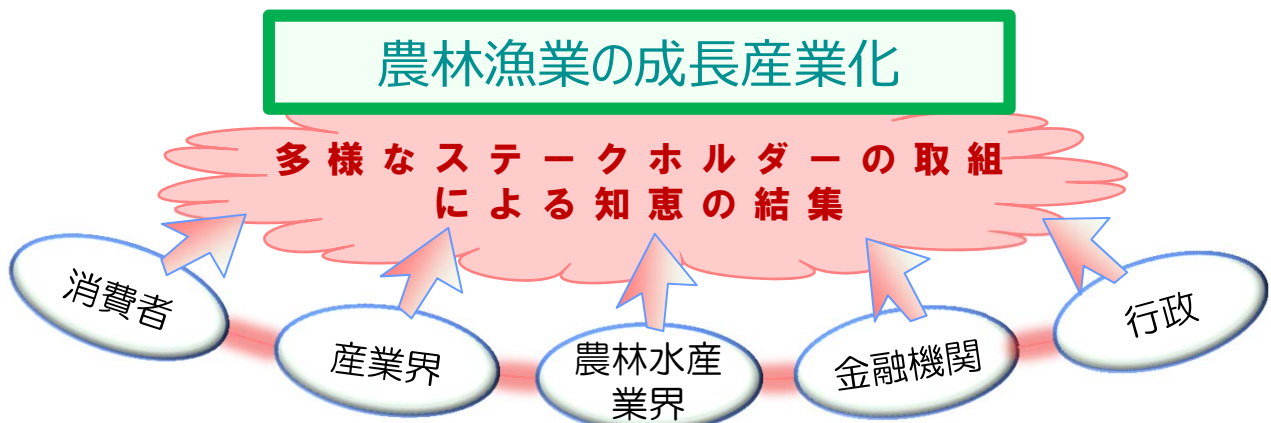
農山漁村には、農林水産物をはじめ、バイオマス、土地、水など様々な地域資源が存在。これらの地域資源は世界的にもCO₂削減やクリーンエネルギー志向が注目される中、今後の経済成長へ向けた貴重な資源。

これらを有効に活用するためには、農林漁業者、農山漁村で生活する者が他産業との新たな連携を構築し、生産のみならず加工・販売・観光等が一体化したアグリビジネス展開することや、先端技術を活用した新たな産業の育成、農山漁村における再生可能エネルギーの導入等によりイノベーションをおこすことが重要。



様々な知見の共有と創発によりイノベーションをすすめる場として産業連携のネットワークを構築（平成23年12月1日設立総会）

◆産業連携ネットワークの目指す姿◆



ネットワークの構築

ネットワーク事務局（農林水産省食料産業局産業連携課）

産業連携ネットワークの取組方針

知の結集

幅広い分野の英知を結集して農山漁村に「パワー」を

課題解決型

知の結集を現場の「形」にする

協働

「民間」が主体。

事務局（農林水産省）は多様なステークホルダーが参集する「場」を運営

産業連携ネットワーク推進のステップ

Step 1

ネットワークへの参加

- ・ 課題や問題認識の共有
 - ・ 農水省からの情報提供
- ↔ 農水省への提案

Step 2

課題ごとの交流・検討の場への参加 【コラボレーションの場】

会員の提案による交流・検討の場を設定

- (例)
- ものづくりのノウハウを農林水産業に活かすには
 - 交流促進のために出来ることは何か
 - 生産性向上を図る資材、サービスの活用手法

Step 3

プロジェクトの実施

- 新たなビジネスモデルの構築
- 生産資材やサービスの生産・販売現場での活用

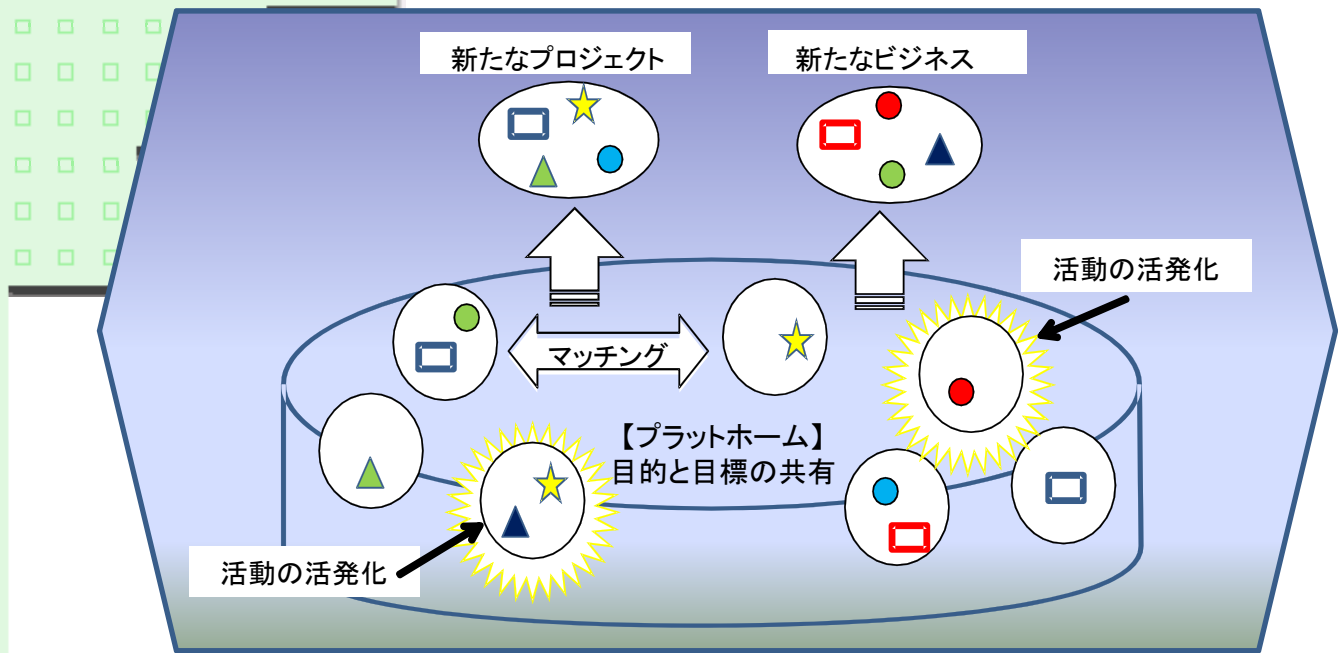
全国への情報発信。広がりを持った取組へ



農山漁村が元気に！



産業連携ネットワークの目指すイメージ



当面のスケジュール

2011年12月

- ・ 設立総会
- ・ 意向調査

2012年1月

- ・ 意向調査集計
- ・ 幹事会の開催
(運営方針の決定)

2月～4月

- ・ 会員プロジェクトの募集・活動開始
- ・ 交流会等の提案、参加者募集
- ・ 産業連携フォーラムの設置

5月

- ・ 幹事会の開催
(活動報告等)

プロジェクトの実践開始

□ 幹事会

各分野を代表する参加団体(企業)による幹事会を定期的に行い、情報共有を行うとともに、運営方針の決定を行います。

□ 交流会等

特定のテーマについて会員が集い意見交換等を行う交流会を開催し、必要に応じて部会を設置します。

□ プロジェクト

会員がネットワークを通じて連携相手を募集する連携プロジェクトを推進します。(必要経費は参加企業等の負担となります。)

※ 地方もブロックごとにネットワークを構築

産業連携ネットワークの会員は随時募集しています。参加の申込みは、農林水産省のホームページ (<http://www.maff.go.jp/j/shokusan/sanki/sanren.html>) で産業連携ネットワークの規約をご確認の上、登録フォームをダウンロードして記入し、sanren_network@maff.go.jp まで、メールで送信して下さい。
【産業連携ネットワーク事務局：03-3502-8246】